

ゆるり

高千穂町国民健康保険病院 広報・接遇委員会



写真は腹腔鏡手術体験（上）と
ミクロの世界体験（下）の様子

当院のホームページはこちら
<http://www.takachiho-hp.jp/>





平成28年8月20日に当院と保健福祉総合センターげんき荘の主催で「けんこう夏フェス2016」が開催されました。今年で3回目の開催となるこのイベントは地元住民を対象とし、毎回職員自らの手作りで企画されています。今年は初回から実施している一日院長と一日総看護師長の任命式に加え、腹腔鏡手術体験、ペーパークラフト、救助訓練など様々なイベントを企画し、多くの来場者で賑わいました。今回の広報誌では各ブースを紹介していきます。



熊本地震での災害支援活動

今年4月に発生した熊本地震で当院のリハビリ室に勤務する成松 義啓(なりまつ のりあき)さんが災害支援のためJRAT(大規模災害リハビリテーション支援関連団体協議会)として益城町に派遣されました。

「平成28年4月14日M6.5(暫定)熊本県益城町は震度7、宮崎県北部山沿いは震度5弱。平成28年4月16日M7.3(暫定)熊本県益城町・西原村は震度7、高千穂町は震度5強。JRATは震災直後より派遣支援を開始、私も第4陣として益城町に向きました。避難所には、昼間は高齢者や子供で溢れかえっており、若い世代は、片づけや仕事に行かれていました。また、車中泊の方も多く、グランメッセには夜間になると150台程度の車が集まっていました。全国から集まったJRAT隊は、個別対応・環境整備を中心に他の支援部隊と共に活動しました。現在、社会資源の回復、社会保障の回復により、普段の生活に戻られた方もいますが、依然として避難所生活を余儀なくされている方が多くいます。医療的な支援の必要性が低くなったことにより7月26日をもって宮崎JRATも解散しました。今回の震災で死亡者64名、重症者592名、軽症者1395名(8月1日現在熊本)出ております。一日も早く元の生活に戻れることをお祈りします。」

成松 義啓



宮崎JRAT（筆者は上段左から2番目）



ミーティングと被災地の状況

中学生・高校生による職場体験

今年も5月から随時、町内外の中学生・高校生による職業体験やふれあい看護体験が行われています。（計33名<予定含>：田原中3名、高千穂中6名、上野中1名、高千穂高校16名、延岡星雲高校5名、五ヶ瀬中等教育学校2名）



院内の手術室や透析室など、普段は見ることのない風景を興味深そうに見学している姿からは将来の医療従事者の面影がありました。今回の体験を通して、看護することや人の命について理解と関心を深める良い機会となったのではないのでしょうか。将来、医療の現場で活躍することを期待しています！！



会議室建設に伴うお願い

平成28年8月31日～平成29年2月28日の期間、会議室建設に伴い救急車両入口及び病院～げんき荘間通路への進入禁止、また病院正面玄関前通路は一方通行とし、Uターン禁止となっております。皆様には大変ご迷惑をおかけしますが、ご理解とご協力の程、宜しく申し上げます。



【受付時間】

7:30～11:30（月～金） 及び 14:00～16:00（耳鼻咽喉科:月水金）
15:20～16:30（小児科）

【平成28年度外来診察表】

平成28年10月1日より

診療科		月	火	水	木	金
内科	1診	押方	押方	押方	興梠	押方
	2診	伊瀬知	伊瀬知	興梠	伊瀬知	興梠
	3診	黒木(大)	興梠	黒木(大)	黒木(大)	黒木(大)
	4診	黒木(美)	黒木(美)	伊瀬知	黒木(美)	黒木(美)
神経内科		神経内科は第4金曜日のみ(完全予約制)				
腎臓内科		第1金曜:小倉記念病院医師、第3金曜日:九大病院医師(13:00～14:30)(完全予約制)				
外科		久米	宮田/10月 木下/11月 甲斐田/12月	久米	担当医	宮田/10月 木下/11月 甲斐田/12月
整形外科		塩月	塩月	塩月	塩月	塩月
		松岡	松岡	松岡	松岡	松岡
眼科※1		(熊大眼科)	－	(熊大眼科)	－	(熊大眼科)
小児科※2		興梠	興梠	興梠	興梠	興梠
泌尿器科		(矢津田)	－	(村上)	－	－
循環器科		－	(済生会医師)	－	－	(済生会医師)
耳鼻咽喉科		甲斐	甲斐(午前のみ)	甲斐(午後のみ)	甲斐(午前のみ)	甲斐
皮膚科		(神人)	－	(福島)	－	(熊大皮膚科)

※1:眼科予約は、平日、月・火・木曜日の午後2時から午後5時まで、電話にて受付けています。

※2:第3金曜日の小児科は熊大医師が担当する場合があります。6月、7月、9月、10月、12月、2月、3月の

連載！【地域包括ケア病棟】

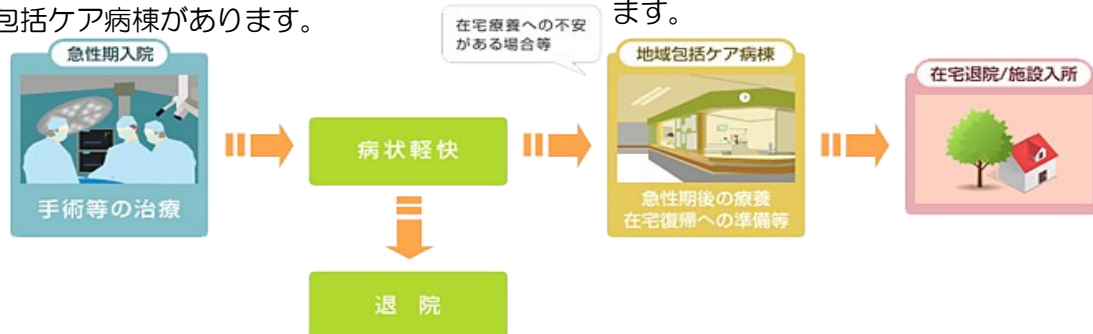
第2回

当院では、安心して入院治療を受けていただくために、

- ①一般病棟 ②地域包括ケア病棟（病床）
③療養病棟（病床）を設けています。

一般病棟入院中は、検査や手術、その後の看護ケア・リハビリテーションを行い、症状の改善や安定がみられれば退院となります。しかし、手術や治療が終了しても、すぐに在宅や施設へ移行するには不安がある方もいらっしゃいます。

在宅あるいは介護施設等に復帰予定ではあるが退院に向けての準備が必要な方に、地域包括ケア病棟があります。



入院期間の限度は転棟から60日となりますが、主治医をはじめ看護師、専従のリハビリテーションスタッフ、医療ソーシャルワーカー等が、患者さんの在宅復帰に向けた準備、相談を積極的に行っていきます。

ちなみに、当院の療養病床は、病状は比較的安定しているが継続した医療ケアが必要な患者様を対象とし、在宅または施設入所等の次の療養の場が決定するまでの病棟となります。

病状や経過にあわせて適切な治療を提供させていただくために転棟して頂く事があります。環境が変わることは大変かと存じますが、ご理解のほどよろしくお願いいたします。